



教えを謙虚に実践 子供達に示そう

3月大教会教会長会議

立教188年3月22日

大教会長 片山 幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R250323-0327-18
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)

<https://www.honjima.com>
Email: webmaster@honjima.com
大教会 朝夕おつとめ時間
【4月1日～4月15日】
朝づとめ 午前6時30分
夕づとめ 午後6時45分
【4月16日～4月30日】
朝づとめ 午前6時30分
夕づとめ 午後7時00分

毎年MLB(メジャーリーグ)のシーズンが始まると、楽しみなことがあります。

それは大谷翔平さんが、ホームランを打ったり、盗塁したり、その活躍ぶりの情報が毎日のようにスマートフォンに届くことです。

その彼が、世界で最も高いレベルで実力を発揮しているのは、日々のトレーニングの努力によるのは言うまでもありませんが、私は彼の人間性にも魅力を感じています。

ゴミが落ちていたらサッと拾ってポケットに入れたり、グラウンドではラインを決して踏まずにぴよこんと跳び越えていきます。これは裏方でラインをきっちり引いてくださるスタッフに対する謙虚な気持ちの表れでしょう。

これらの態度は、きっと幼い頃からご両親との日々の生活の中で、おのずと謙虚さを学んでこられたので

はないかと思うのです。

私たちも同じような使命があるのではないのでしょうか。

我が子はもちろん、これから道を歩む子どもたちが、教祖の教えに沿って物事を思索し、行動できるように、私たちが謙虚に道を歩む姿勢を示していくことです。

そして日々の生活の中で「親神様は陽気ぐらしに向かって私たちを導いてくださっているんだよ」「私たちは教祖のおかげで、陽気ぐらしへの歩み方を知ることができたんだよ」「陽気ぐらしは、私たちが等しく兄弟姉妹として互い立て合いたすけ合う世界なんだよ」ということを言葉だけでなく、日々常々現れてくる出来事を

斯道会 別席団参



立教188年 / 2025年

5.25
and
11.30

SUNDAY

さあ、年祭活動
仕上げる年
ご存命の教祖に
お喜びいただこう

5月25日(日) 本島プログラム

記念講演: 10:00～11:00 第2食堂

講師: 渡辺道治先生(教え方の学校主宰)

お願いづとめ: 11:30 東礼拝場

前夜祭: 本島詰所4階講堂

5月24日(土) 19:00～20:30

通して、みずからの態度で示していく。そこから立派なよう、よくに育っていくのではないかと思います。

教祖は、

「人が好くから神も好くのをやで。人が惜しがる間は神も惜しがる。人の好く間は神も楽しみや。」

(逸話篇八七「人が好くから」より)

と仰せ下さいました。

4月になると、子どもたちは新年度を迎えます。新しい生活が始まる子もいると思います。そのような切り替わりで心が揺れる時期に、先に道を歩んでいる親の使命を再確認させて頂きたいと思います。

よろしくお願いいたします。

(文責: 本島通信編集室)

たんのうは陽気ぐらしの鍵

大教会役員
岡崎 マーロン おかざき

本日は月次祭を執り行い、親神様・教祖に感謝を申し上げ、世界一れつの平和とたすかりを願ひ、陽気ぐらしへの歩みをお誓いする素晴らしい日となりました。

御命を頂きましたので、しばらくの間よろしくお願いいたします。

本日は陽気ぐらしへの鍵となる



「たんのう」についてお話をさせていただきます。

皆さまにお尋ねします。「今、勇んでいる」という方はいらっしゃいますか。反対に「いずんでいる」という方はいらっしゃいますか。勇めなのは、自分の希望通りにならなかったからでしょうか。

教祖は、

「不足に思う日はない。皆、吉日やで。」(逸話篇一七三「皆、吉日やで」と教えられました。

これは、自分が陽気ぐらしができるかどうかは、他人や他の事柄は関係なく、自分自身にかかっている。他人のせいにならず、自分で決めることだということでしょう。

私はたんのうが地球上、すべての人間の陽気ぐらしへの鍵であると信

じています。

たんのうとは何か考える前に、たんのうではないことから説明してみましょう。

まずい状況や不都合なことに對して、ただ我慢したり、耐えたりすることは、たんのうではありません。また「たんのうせよ」と人から命令されることでもありません。たんのうは、自ら湧きあがってくるものです。天理教教典では、たんのうについて次の通り記されています。

「たんのうは、単なるあきらめでもなければ、又、辛抱でもない。日々、いかなる事が起るうとも、その中に親心を悟って、益々心をひきしめつつ喜び勇むことである。かくて、身上のさわりも事情のもつれも、己が心の糧となり、これが節となって、信仰は一段と進む。」

三原典におけるたんのうはいかがでしょうか。

実は、みかぐらうたとおふでさきに、たんのうという言葉は一度も出てきません。

おさしづでは、1千283回も出てきます。一つのおさしづに「たんのう、

たんのう」と何度も繰り返されるのはこの数に入っていない。私は全部数えました。たんのうとは、教えを實踐する上でとても大切な心の治め方であると言えらると思います。

では、このおさしづでたんのうはどのように出てくるのでしょうか。一例を挙げると、

「見てはたんのう、聞いてたんのうして暮らさねばならん。」

(明治23・6・21)
「誠あればこそ、たんのうの心定まる。そこで、たんのうより受け取るものは無い。たんのうは誠。誠は天の理や。」

(補遺明治23・5・13)
「たんのうは前生いんねんのさんげとも言う。一代切りと思えば、たんのうとは言えん。」

(補遺明治30・11・19)
「たんのうは誠とも言ふ。真の誠なら受け取らにやならん。受け取りたら、後々代々の事情は楽しみであらう。」

(補遺明治31・5・17)
このように、たんのうは悪いいんねんを断ち切るだけでなく、たんのうこそ誠で、未来の世代分も受け取って頂けるといふのです。

また日常生活で夫婦間の不足はよくあると思いますが、ここに興味深いおさしづを見つけました。

「夫婦の中たんのう、一つの理、互いぐとも言う。さあこれより一つしっかり治めるなら、いかなる事も皆んなこれ思うように事情成って来るという。」

(明治30・7・19)

夫婦間でたんのうが治まれば、すべてが思い通りになるという親神様のお約束です。

ではどうすればこれまで以上にたんのうを實踐することができのでしょうか。

「思案して十分喜んでたんのう。不足ありてたんのう出来ん。」

(明治32・8・21)

とあり、たんのうを實踐するには、まず第一に不足を言っではいけません。不足はたんのうと反対な行為になります。

次に、

「楽しみ無くたんのう出けやせん。」(補遺明治30・12・22)

たんのうを實踐するには、明るい未来を積極的に楽しみにすることです。物事を良い方向へ考えることではないでしょうか。

私自身のことを申し上げますと、実はこの半年ほど、経済的、精神的、肉体的、夫婦関係、家族、そして何より教会のことが思うようにいかず、少しうつになりかけていました。

親神様は私に何を伝えようとしているのだろうかと考えています。答えはまだ出ませんが、私はたんのうの心で、大難は小難、小難は無難という視点で物事を受け止めようと思っています。

誤解して頂きたいことは、私は教会長としての仕事が好きで、天理教の教会長であることを誇りに思っています。それでも時々、自分が教会長として失格ではないかと感じることはあるのです。

私は若い頃、東京のソニー本社で働いたことがあり、いつか日本とながりのある多国籍企業の社長になることを夢見ていました。

しかし、現状の苦しみを見ると、自分の人生の目標を達成できなかったと思うようになりました。

数ヶ月前、私の姪が数年ぶりSP教会に電話を掛けてくれ、私の様子や教会の状況を尋ねてくれました。私は「まあまあだけど、パンデミック以来、教会に来る人は少なくなり、

教会運営も厳しいし、自分の夢も叶えられなかった。」と正直に話しました。

すると彼女は素敵な言葉をかけてくれたのです。

「マローンおじさんは、すでに自分の夢が叶っていることに気づいていないの?」

私は、「えっ、どういうこと」と尋ねました。すると彼女はこう言うてくれたのです。

「だって、おじさんはSP教会の会長でしょう。そして天理教は日本を拠点とする多国籍組織じゃない。しかも、おじさんは教会の仕事で語学のスキルを使っているでしょう?」

その瞬間、私はハッとしました。そんなふうに考えたことはなかった。でも、確かにそうだ。私は自分の夢を生きているんだと気づいたのです。彼女のおかげで、自分自身の会長としての役割をまったく新しい視点で見ることができるようになりました。

もう一つ、私に希望を与えてくれるのは、SP教会ようぼくであるゼファー・ナタリー・スペンサーさんです。

彼女は昨年、TLI日本語コース

を卒業し、今月1年間の「おやさふせこみ課程」を修了しました。そして今春から、教会本部の海外部で勤務することが決まっています。

彼女の夢は将来、教会本部の翻訳課で御用をし、一生をかけて教祖の教えを英語に翻訳することです。

彼女はおそらく海外部で勤務する初めてのトランスジェンダーかもしれません。

彼女が天理教の教会に初めて訪れたのは、わずか3年前の2022年4月のことでした。

彼女はアメリカ伝道庁を訪れ、そこで私が彼女に初めておさづけを取り次ぎました。その後彼女はアメリカ修養会に参加し、SP教会の信者になりました。そして同年の10月、ようぼくになりました。今では定期的におさづけを取次ぎ、時間をみつけてはにをいがけをしています。

彼女はSP教会の誇りです。そして、もし彼女が私の救けた唯一の人だったとしても、それだけで「私は会長であることを誇りに思う理由がある」と胸を張って言えます。

だからこそ私は今、感謝することの心をかけています。すべてのことの中に、親神様のご守護を感じ取りた

いと思っています。

最近でも、私は妻とつまらないことで口喧嘩をしてしまうことがあります。今になって、親神様は私に何かを気づかせようとしているのだと考えるようになりました。夫婦お互いにもっと優しく接し、もっと幸せを感じ、より陽気に過ごせるようになりたいと思います。

みかぐらうたに、

ふたりのこゝろをさめいよ
なにかのことをもあらはれる

(四下り目)

ふうふそろうてひのきしん
これがだいゝちものだねや

(十二下り目)

とあります。

夫婦が心一つにして、共にひのきしんに励むこと。これこそが第一の物種となります。

教祖140年祭に向かって、私たちはそれぞれが心定めをすること。その決意を守り、心の成人の姿を教祖にお見せすることが大切です。

私の心定めの一つは、たんのうの心のできる限り持ち続けること。そして妻との関係をより良いものにしたと思います。

最後にお伝えしたいことは、私たちには明るい未来が待っているということです。なぜならば、親神様・教祖は私たちが陽気ぐらしをすることを願ってくださっているからです。そしてその陽気ぐらしを送るための鍵こそが、たんのうの心だと思います。

私たちは自ら、たんのうを実践するかどうか選ぶことができます。他の誰かが代わりにやってくれるわけではない。強制されるものでもありません。これは私自身の課題であります。

私は、自分の教会の皆さんに説いていることを、実践しなければなりません。どんな中でも喜びを見出し、たんのうの心を養うことです。これが私のこれからの心定めです。

そして皆さんも是非、日々の生活の中でより多くたんのうを実践してみましよう。すべての日は「皆、吉日やで」です。その日をどう受け止めるかによって、私たちの感じ方は変わるのです。

ご清聴ありがとうございました。

(文責・本島通信編集室)

本桶川分教会 5代会長就任奉告祭



本桶川分教会(田中宏^{ひろのり}教会長、埼玉県桶川市)では昨年6月田中佑三4代会長の出直しにより、本年1月26日のお運びで田中宏教氏の教会長任命の理のお許しを戴いておりましたが、去る3月9日午前11時より大教会長夫妻を迎え(随行・永島宗行准役員)、5代会長就任奉告祭を執り行いました。参拝者50余名。



前日まで春寒が続いていましたが、奉告祭当日は穏やかな陽光が照らす天氣に恵まれ、大勢の参拝者が集いました。

挨拶に立った大教会長は、田中新会長が5代会長の^{たすき}襷を親神様から託されたとし、「託された区間を、新会長を支えて、皆さまでも一緒に走って頂きたい」と述べられた上で、教会に集う人は一人ひとり顔立ちも性格も皆違うが、かぐらづとめの理にない、「親神様・教祖を中心に互いに立て合い助け合い、一手一つに心を寄せる教会であつたほしい」と、目指す教会像を示されました。さらに親神様・教祖は人間の親であり、親子の関係にあることから「天理教の教会の神殿は大きくある必要はなく、親子団らんするように小さくても密接な関係が大切です。教会に足繁く運んで、理の親子の関係をより築いて頂きたい」と述べられました。

続いて座りづとめ・てをどりを勇んで勤められました。

三月月次祭 祭典役割

献饌長 岡崎八十則
伝 供 向所隆文・大上道德・
原口実・奥村龍夫・伊東康成・
高垣光治・雲庵春彦・茶屋原良
昭・横山正次・片山和信・横関
茂治・白垣初生・岩橋秀一・香
川勝巳・位下道治・鎌田典夫・
宮路和徳・村田輝夫・橋口徹・
大矢万三・古井信・上山康雄・
川村吉夫・溝口晋太郎・屋敷
ゲーリー・肥後信・大西知・
江草克二
雅楽奉仕者 文園育則・池田恒
治・片山秀明・香川高範・伊東
賢太郎・鎌田康典・白垣俊生・
奥村由多加・片山昇太(順不同)

祭主 指図方	大教会長	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
	岩橋竜造			
	厩者			
	寺本教生 井上哲			
地 方	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半
てをどり	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半
ち ゃ ん ぼ ん	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半
拍 子 木	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半
太 鼓	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半
す り が ね	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半
小 鼓	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半
三 味 線	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半
胡 弓	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半
神 殿 講 話	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半	てをどり後半

三月月次祭祭文

立教百八十八年三月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王
命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎ん
で申し上げます

親神様には一れつ子供の陽気ぐらしを楽しみ
にこの世人間をお創め下され御刻限の到来と
共に教祖をやしるにこの世の表にお現れにな
りよろづいさいの元の理と真実の親を明かし
て世界たすけをお促し下さいます御高恩の程
は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共はひたすら子供の成人をお待ち望み下さ
る親の恩召にお応えさせて頂きたいと全よふ
ばく信者が心を一つに立ち上がり勇んで教祖
年祭活動に励まして頂いておりますがその中
にも今日の吉き日は当大教会の三月の月次祭
を勤めさせて頂く日柄を迎えましたので只今
からおつとめ奉仕者一同心を澄ませて一手一
つに心を揃えて座りづとめてをどりと陽気に
勇んで勤めさせて頂きます

御前には今日を樂しみに帰り集いました本島
の道につながる教え子達が日頃賜わる厚き御
恵みに御礼申し上げ尚も尽きせぬ御守護にお
縋りする真実の状をも御覧下さいまして親神
様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

尚おぢばでは来る二十七日二十八日の両日に
亘って「立教百八十八年、春の学生おぢばがえ
り」が開催されますので一人でも多くの学生達
に積極的の声を掛けさせて頂きお待ちかね下
されている教祖の元で御教えを学び仲間との
絆を深めて広く世界に人たすけの御用に役立

たせて頂けるよう努めさせて頂きたいと存じ
ます

更に少年会本島団鼓笛隊ではこの月二十八日
から四月一日にかけて「第百十三回春季合宿」
を大教会を会場に実施させて頂き隊員達の輪
を一人でも多く広げ少年会員達が将来教祖の
御用に役立つ立派なよふばくに育つよう丹精
に励ませて頂く所存でございます

この期間中婦人会員による「MOMOの会」で
は「鼓笛応援ひのきしん」として陰からの協力
を以て一手一つに努めさせて頂きます

尚来る四月十八日の二百二十七回目の教祖誕
生祭にはござつてお慶び申し上げます当日におぢ
ばで開催させて頂く「婦人会本島支部の集いで
は河原町大教会長様のご講話を「DVD」で拝
聴し翌十九日の「第百七回婦人会総会」では真
柱様婦人会長様のお言葉を賜りますので三年
千日締めくくりの時句の歩みの上にちばの
理をしっかりと受け止め御期待にお応えさせ
て頂きたいと存じます

その上から私共は「斯道会別席団参」のお声に積
極的にお応えしてそれぞれの足元をしつかりと
確かめ樂しみの心で大勢の方々をおぢばにお誘
いして教祖にお喜び頂きたいと存じます

何卒この上とも温かき親心を賜わりましたすけ一
条の足取りを力強く進めて成人の道志なくお
連れ通りの程を一同と共に慎んでお願い申し
上げます

(原文のまま)

霊峰分教会 神殿屋根葺替 鎮座奉告祭

霊峰分教会(宮路和徳会長、宮崎県都城市)では、昨年11月26日のお運びで「建築模様替及神殿屋根葺替願」の理のお許しを戴いておりましたが、工事が予定通り完了しましたので、大教会長を迎え(随行・向所隆文准役員)、3月12日午後6時より鎮座祭、翌13日午前10時より奉告祭を執り行いました。参拝者40余名。

霊峰分教会の神殿は昭和45年9月に落成し、以来50年以上経ちましたが、年限の経過とともに神殿部分の屋根が老朽化し、台風や豪雨の際に雨

漏りを心配するようになり、このままでは御目標様並びに祖霊様にも不敬に至る恐れがでてきましたので、役員信者一同話し合い、神殿部分の屋根を葺き替えさせて頂くことになりました。

ところが願書を作成する過程で、16年前の教職舎ふしんにおいて渡り廊下の一部がお許し頂いた床面積と異なっていたことも分かり、併せて建築模様替も願い出ることになつた次第です。



奉告祭において挨拶に立つた大教会長は、教会がおちばの出張り場所として「勇む」ことを述べられ、「十一下り目は、ひのきしんが続いた最後、『やれたのもしやありがたや』で、勇みの手3回の後、左足が半歩前に出ます。これは教祖の思召を悟り、ひのきしんに勇むことで、不思議な守護を戴き、ありがたいという勇み心が半歩前に出るのではないか」と悟りを紹介した上

で、霊峰分教会の神殿に掲示している活動のかどめ「日々のをいをいがけ、積極的なおたすけ、おちばの理を頂く」を勇んで取り組み、斯道会別席団参に向かつてほしいと述べられました。

続いて座りづとめ・てをどりが陽気に勤められました。

安藝本中分教会年祭

安藝本中分教会(池田さわみ会長、広島市中区)では3月17日午前10時より大教会長祭主のもと、池田隆弘6代会長20年祭が執り行われました。参拝者48名。



春季霊祭役割

雅楽奉仕者 片山秀明・香川高範・上山薫・伊東賢太郎・鎌田康典・香川靖幸・白垣俊生・片山昇太(順不同)

祭主 大教会長
指図方 岩橋竜造
扨者 寺本教生
賛者 井上 哲
永島宗行
片山直明
献饌長 岡崎八十則
伝 供 向所隆文・大上道徳・原口実・奥村龍夫・伊東康成・高垣光治・雲庵春彦・茶屋原良昭・横山正次・横関茂治・長尾海和・白垣初生・上野作也・山下英久・須崎晴道・屋敷ゲリー・小野教泰・牧野善明・片山香葉子・片山和信

てをどり		地 方	てをどり前半	てをどり後半
ちやんぼん	向所隆文	長尾海和	須崎晴道	須崎晴道
拍子木	岩橋慶三	篠原丕王	橋口 徹	伊東康成
太 鼓	岡崎八十則	原口 実	橋口 徹	伊東康成
すりがね	老木邦光	橋口 徹	伊東康成	伊東康成
小 鼓	平井真治郎	片山孝代	片山孝代	片山孝代
三 味 線	井上みつ	岡崎むつゑ	岡崎むつゑ	岡崎むつゑ
胡 弓	岡崎むつゑ	岡崎むつゑ	岡崎むつゑ	岡崎むつゑ

ろくち会 (立教188年2月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太 ▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜▽片山清枝・正枝・誠 ▼安藝本中△池田こみち ▼崇徳分教会 ▼本高△菅岡新 ▼ポトランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次

ろくち会 (立教188年3月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太 ▼本樺△大上ほの香・はる香・太吉 ▼本浜▽片山清枝・正枝・誠 ▼崇徳分教会△高垣あゆみ ▼本高△菅岡新 ▼ポトランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次

布教部報告(3月分) 数字は本年の提出回数です

統計 (2月1日～28日)

にをいがけ名簿提出教会（3月）					
本島	2	本千代	3	本九台	2
樺太	3	本千賀	3	赤峰	3
本田中	2	本千治	2	雅峰	3
本倉岡	3	本攝	3	南峰	3
本樺	3	攝津	3	神峰	3
本室	3	攝泉	2	豪峰	3
渋谷	3	本太	3	倉峰	3
代々木	2	本萩	2	大雄峰	3
本萬代	3	琴浦	2	雄福峰	3
本都	3	安藝本中	3	雄山峰	3
本京	3	本備前	3	栄森峰	3
本東	3	本迪	1	栄星峰	3
本道盛	2	本府中	3	栄東峰	3
本草	3	沖浦	3	霊峰	3
本三	3	本清水	2	大隅聖峰	3
本恵	3	崇徳	3	大松峰	2
本恵明	3	本勇	1	大駿峰	3
本静濱	3	本高	3	別峰	3
本静森	3	本宣道	3	大英峰	2
本日米	2	本九	3	文峰	3
本浜	3	本小倉	2	鶴峰	3
本米	3	本陽山	3	都峰	3
本米里	3	本肥港	2	仙峰	3
本米浜	3	本新田	3		
計 71 教会 670 名					

おさづけ取次報告教会（3月）					
本島	3	本千治	2	本新田	3
樺太	3	本千恵	3	本九台	3
本田中	2	本平濱	2	赤峰	3
本倉岡	3	本攝	3	雅峰	3
本樺	3	本花	1	神峰	3
本室	3	攝津	3	豪峰	3
本渋谷	3	本吹田	3	倉峰	3
代々木	3	攝泉	3	大雄峰	2
本萬代	3	本邦	2	雄福峰	3
本都	3	本太	3	雄山峰	3
本京	3	本萩	2	栄森峰	2
本東	3	本水島	2	栄星峰	3
本道盛	3	安藝本中	3	栄東峰	2
本草	3	本備前	3	霊峰	3
本護	2	本迪	2	大隅聖峰	3
本三	3	本府中	3	大松峰	3
本恵	3	沖浦	3	大駿峰	3
本恵山	3	本清水	3	別峰	3
本恵明	3	崇徳	3	大英峰	2
本静濱	3	本廣	1	肥後八峰	3
本浜	3	本勇	2	新信峰	2
本米	3	本高	3	鶴峰	3
本米里	3	本九	3	都峰	3
本米浜	3	本小倉	2	仙峰	3
本千代	3	本陽山	3	ミッドエスト	2
本千賀	3	本肥港	3		
計 77 教会			1,873 回		

教会名	初席	中席	おさづけ	修養科	教人講習	検定講習
本府中	1				1	
本陽山	1					
本新田	1					
本福峰		1				
本松峰						
本信峰	1					
本鶴		3		2		
合計	4	4	0	2	1	0



計報

大教務員夫人 平井昌子姉
樺分教務員夫人 平井昌子姉
平井昌子姉(本島大教会役員夫人・
ひらいあつこ)

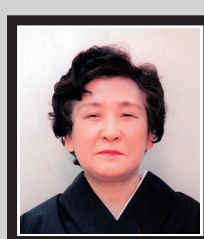


樺太分教会 4 代会
長夫人・
本陸奥分
教会 3 代
会長)は

去る2月25日午後9時17分お出直
しになりました。享年94歳。
葬儀はみたまうつしを3月2日午
後6時より、告別式を翌3日午前
10時より、樺太分教会(北海道美
唄市)において、大教会長斎主の
もと執り行われました。
平井昌子姉略歴
昭和7年4月17日生まれ。昭和29
年4月27日、おさづけの理拝戴。
昭和31年1月27日、修養科第175期
修了。昭和50年8月19日、教会長
資格検定合格。同年9月8日、教
人登録。昭和53年11月26日、本陸
奥分教会3代会長拝命。昭和56年
1月22日、婦人会本島支部委員。
昭和59年11月22日、大教会神殿奉
仕人。平成10年6月26日、本陸奥
分教会長辞職。教会長在職期間20
年間。本部御用方室御供所掛を務
められました。

計報

吉峰分教務員夫人 楠本美代子姉
楠本美代子姉(吉峰分教会初代
くすもみよこ)



会長)は
2月28日
午前0時
5分お出
直しにな
りました。

享年92歳。
葬儀はみたまうつしを3月3日午
後6時より、告別式を翌4日午前
9時30分より、大阪市内の葬祭場
において、井上力・南峰分教会長
斎主のもと執り行われました。
楠本美代子姉略歴
昭和8年3月2日生まれ。昭和43
年9月18日、おさづけの理拝戴。
同年9月28日、修養科第32期修了。
昭和46年2月16日、教会長資格検
定合格。同年3月20日、教人登録。
立教155年4月26日、吉峰分教会設
立、初代会長拝命。同年11月22日、
大教会神殿奉仕人。立教170年10月
26日、吉峰分教会長辞職。教会長
在職期間15年6ヶ月間。



宮森先生おてなoshi

大教会世話人・宮森与一郎先生による「おてなoshi」が2月25日午後3時より約1時間、詰所4階講堂で行われ、約60名が受講しました。

基本的な手振りをおさらいした後、十一下り目と十二下り目の手振りを確認しました。



春季雅楽講習会

青年会本島分会(伊東賢太郎委員長)では、京城分会と合同による春季雅楽講習会を2月1日と2日に本島詰所で行った。本島より10名、京城より3名の計13名が参加し、上

級コースは嵯越調の蘭陵王、初級コースは平調の越殿楽を練習しました。



青年会マンスリー隊

青年会本島分会(伊東賢太郎委員長)では、2月23日(日)と3月2日(日)の2週続けて、「帰ろうぜ!本島!マンスリー隊」を実施。2月23日(第5回)は14名、3月2日(第6回)は10名が参加し、旧教会とお墓地のウバメガシの剪定、神殿の蛍光灯交換、月次祭と春季霊祭の餅つき等を行いました。

今回は4月12日(土)と5月18日(日)に実施予定です。

進学進級お祝い(崇徳)

崇徳分教会(高垣光治会長、香川県丸亀市)では3月15日、同教会において、進学進級お祝いの会を開催。15名が集いました。

今春、崇徳分教会では新たに社会人1名、大学生4名、高校生1名が誕生することになり、特に大学生は全員が県外で新生活を始めます。小学1年のときから本島鼓笛隊でお育て頂いたことを心の糧に、今日までのお礼とこれからの決意を親神様に申し上げました。



大教会長動向

▼3月(予定)▲

29〜30日、本福分教会

神殿落成鎮座奉告祭

31日、本島鼓笛隊閉講式

▼4月(予定)▲

1日、本部神殿奉仕当番

3日、香川教区役職者会議

8日、本崇徳分教会巡教

10日、沖浦分教会巡教

14日、大教会月次祭執行

18日、教祖御誕生祭

19日、天理教婦人会総会

24日、修養科総立まなび

25日、かなめ委員会

26日、本部月次祭

27日、かなめ会総会

29日、全教一斉ひのきしんデー

30日、本部神殿奉仕当番

以上

すき間のおはなし

一番最初に咲く桜の名所

親里の東筋北側の塀沿いにある桜並木は「アタミザクラ」です。昭和56年、中山善衛・三代真柱様にご友人が苗木を贈ったのが始まりとのこと。いまでは「奈良県で最初に咲く桜の名所」として広く知られています。

数年前、病害虫によるためでしょうが、強剪定され、見た目も貧相になり心配しましたが、今年は例年に増してボリュームのある花をいっぱい咲かせてくれました。

「東筋にはお湯の土管が走っているから、他より早く咲くんだ」という噂を学生時代に聞いて長く信じていました。(むかいじょ)



2025年3月24日撮影

事情はいび

(立教188年3月26日付)

タミナル教会

屋根葺替願

教会長 清水ロバート・マサミ

臨時祭典願

鎮座祭 立教188年5月30日

奉告祭 立教188年5月31日

以上

おさづけの理拝戴

(立教188年1月分)

本島 羽里水琴

肥後八峰 肥後大地

【計2名】

修養科第二〇〇二期修了

(立教188年2月27日修了)

鶴峰 小西高明

鶴峰 加藤孝子

【計2名】

修養科第二〇〇三期修了

(立教188年3月27日修了)

本島代 吉川行雄

鶴峰 加藤大岳

【計2名】

教人資格講習会修了

(立教188年2月10日修了)

本府中 吉田このみ

【計1名】

をびや許し

(立教188年1月分)

本草 宮坂美歩

實峰 熊谷史浦

【計2名】

(立教188年2月分)

本攝 黒田幸代

鶴峰 末次依代

都峰 重本知可子

【計3名】

証拠守り下附

(立教188年2月分)

同朋1

【計1名】

入社祭

(立教188年3月22日)

▼本島△上原正隆

▼本太△加々美務

【計2名】

学生生徒修養会 大学の部

(立教188年3月4日～8日)

▼本島△片山昇太 ▼本千代

△今宮穂香 ▼本亀△長尾直

太郎 ▼神峰△橋口有理 ▼

實峰△山内彰子 ▼吉松峰△

宮林初実 ▼仙峰△向所純平

【計7名】

スタッフ ▼与島△岡崎希恵

▼栄東峰△川村幸代 【計2名】

学修 高校卒業生コース

(立教188年3月10日～12日)

▼樺太△平井勇成 ▼崇徳△

高垣さとし△山本桜妃

【計3名】

スタッフ ▼本千代△吉田貴

慶 ▼本太△佐藤祥子 ▼本

廣△白垣俊生 【計3名】



何処へも
はばたかせんで

【教会の掲示板】
本島ドットコムよりダウンロードできます

慶事

岡崎希恵さん(与島分教会教人25歳)と中田大実氏(本部直属・鮮京分教会後継予定者30歳)の結婚式が3月20日、本部教祖殿で執り行われました。結杯の儀ならびに記念撮影に真柱様ご夫妻のお出ましを頂き、続いて披露宴に大教会長夫妻が列席いたしました。



ご誕生おめでとう

森本夏未さん

(令和6年8月10日生まれ、大雄峰分教会)

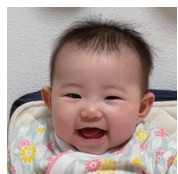
安東依采さん

(令和7年2月27日生まれ、赤峰分教会)

岩上海斗君

(令和7年3月6日生まれ、赤峰分教会)

赤峰分教会)



大教会からの お知らせ

3月22日教会長会議連絡事項

教祖お誕生まつり

【本島大教会】

- 4月14日、大教会祭典終了後、全員で「教祖御誕生讃歌」「おやさまおうまれ」「教祖御誕生祝歌」を斉唱し、お祝いさせていただきます。

婦人会第107回総会

【婦人会本部】

- 日時：4月19日(土)
午前9時30分式典
引き続いて、おつとめ
- 場所：本部中庭、南・東礼拝場前、西境内地

〈本島支部の集いについて〉

- 日時：4月18日午後6時15分開会
- 場所：本島詰所4階講堂
- 内容：支部長挨拶、講話DVD「河原町大教会長 深谷善太郎先生」
- 参加御供：一委員部1,000円

〈総会後、ふりかえりについて〉

- 日時：4月19日総会終了後
- 場所：本島詰所4階講堂
- 人数確認のため、所定用紙に記入の上、4月14日まで直轄ごと婦人会庶務へご提出下さい。
- 尚、19日ふりかえり終了後、お弁当をお渡ししますので、併せて人数をお知らせ下さい。

〈教祖誕生祭 おやさまへのお供え〉

- 手作りの品(おふきん、手芸品など)または賄い料
- 4月18日午前7時までに北棟2階婦人会事務局までお届け下さい

<https://www.honjima.com/>

↓ は、本島ドットコムより関連資料をダウンロードすることができます。
トップページ>各種ダウンロード

斯道会別席団参



【団参担当】

- 日にち：5月25日(日)

「第2次帰参予定申込」について

- 締切日：4月26日
- QRコードを読み取って、エクセルファイルをダウンロードし、下記メールアドレスに添付して送信してください。
shidoukai.honjima@gmail.com



- 上記ができない教会は、所定の帰参申込書にご記入の上、本島大教会へFAXかご郵送ください。
- ※この申込みは最終申込みとなります。申込み後の変更は、5月20日まで本島詰所へご連絡ください。
- ※5月20日以降の食数変更はできません。食事御供を申し受けます。

斯道会別席団参(本島)

- 別席の誓い：午前8時～午後3時
※初めて別席を運ばれる方は「初席前のお話」があります
- 別席受付時間：
午前席：午前8時～9時30分
午後席：正午～午後1時30分
- 記念講演(本島プログラム)
日時：午前10時～11時
会場：第二食堂
講師：渡辺道治先生
- お願いづとめ
日時：午前11時30分、東礼拝場
※おつとめは定時のお願いづとめ(年祭の心定め)の完遂とご守護の祈念です。おつとめ終了後、解散となります。
- ※参加票は事前にご記入の上、当日の受付箱へご投函ください
- 参加御供：ひとり500円(高校生以上)教会ごとまとめて大教会へお届け下さい
- 前夜祭
日時：5月24日(土)午後7時～8時30分
会場：本島詰所4階講堂

団参に向けてひのきしん

【団参担当】

斯道会別席団参に向けて、準備ひのきしんを行います。

- 日にち：4月27日(日)
午前9時～午後3時まで
- 場所：本島詰所

能登被災地ひのきしん

【青年会本島分会】

災害ボランティア能登半島地震被災地ひのきしん

- 日程：出発地は参加者により決めます。
5月2日午後8時出発
5月3日珠洲市にてひのきしん活動
5月4日朝、現地出発、
- 拠点：珠洲ひのきしんセンター
(石川県珠洲市、寶立分教会)
- 参加御供：3千円(交通費・食事代)

青年会マンスリー隊

【青年会本島分会】

おもに祭典準備ひのきしんを行います

- 実施日：立教188年(2025年)
4月12日(土)、5月18日(日)

4月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：4月13日～14日
- 派遣：安藝本中

〈詰所・教祖誕生祭受入ひのきしん〉

- 期間：4月17日午前8時～
4月19日午後1時頃
- 派遣：本浜①、同朋①、本福①、本承德①、本府中①、本中國①、阿波本徳①、本九台①、赤峰②

〈詰所・炊事ひのきしん〉

- 期間：4月25日～26日
- 派遣：崇徳①、本宣道①

大教会4月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：4月14日大教会4月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：
メールで、live@honjima.com に「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：4月13日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。

